

学校コード F139310110546

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 大学の設置

注1

認可

注2

高知学園大学 健康科学部 臨床検査学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人高知学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	事務局
職名・氏名	シムキョクチョウモリハラセイジ 事務局長・森原 誠二
電話番号	088-840-1121 (内線: 1110)
(夜間)	088-840-1121 (内線: 1110)
e-mail	smorihara@kochi-gu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

健康科学部

＜臨床検査学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人高知学園

(2) 大学名

高知学園大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒780-0955
高知県高知市旭天神町292-26

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(キラ マサヒト) 吉良 正人 (平成26年8月)	(タカセ ヒサシ) 高瀬 久志 (令和2年8月)	前任者の任期満了に伴い選任 (令和2年8月31日) (3)
学長	(チカモリ ケンスケ) 近森 憲助 (令和2年4月)	(オジマ カズヒサ) 小島 一久 (令和5年4月)	前任者の任期満了に伴い選任 (令和5年4月1日) (5)
学部長	(チカモリ ケンスケ) 近森 憲助 (令和2年4月)	(タカオカ エイジ) 高岡 榮二 (令和5年4月)	前任者の任期満了に伴い選任 (令和5年4月1日) (5)
学科長等	(トミナガ マリ) 富永 麻理 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
健康科学部 臨床検査学科 学士(臨床検査学)	保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリ)	4年	60人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	240人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	-	-	-	-	60	60	60	60	60	60	-	-	0.78 倍	倍	0.75 倍	倍	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	78	54	59	53	53	-	-						
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	76	53	59	53	53	-	-						
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	69	51	58	53	53	-	-						
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	59	42	43	44	44	-	-						
入学定員超過率 B/A					0.98	0.7	0.71	0.73									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	59	-	42	-	43	-	45	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	56	-	41	-	41	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	56	-	41	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	54	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	59	-	98	-	140	-	181	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	59人	3人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	3人	0人	就学意欲の低下(1)、進路変更(就職1)、体調不良(1)
令和3年度	98人	1人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	1人	0人	体調不良(1)
令和4年度	140人	3人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1人	0人	進路変更(就職1)
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	2人	0人	進路変更(転学1)、学力不足(1)
令和5年度	181人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計		7人		7人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{59} = \boxed{5.08} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{98} = \boxed{1.02} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{140} = \boxed{2.14} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{181} = \boxed{0} \%$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<健康科学部 臨床検査学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養・基礎科目	人間と文化の探求	生命倫理学	3前	2							1	
	心理学	1前		2							1	
	平和と友愛論	1前	1								1	
	美術の世界	1前		1							1	
	国際文化人間論	1前		1							1	
	現代社会の探求	社会学	1前		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		社会とメディア	1後		2							1
		経営学基礎	1後		2							1
		マーケティング論	2前		2							1
		ヒューマンコミュニケーション	1後		2							1
	自然科学の探求	化学概論	1前	2								1
		生物学概論	1前	2			1					
		物理学概論	1前	2								1
		数学概論	1前		2							1
		統計学	1後		2							1
	地域と環境の探求	健康科学	1前	1								1
		生活と環境	1前		2							1
		災害と生活	1後		2							1
		土佐の歴史	1前		1							1
		土佐の食文化	1前		1							1
	日本語科目	日本語文章表現	1前	1								1
		日本語口頭表現	1前		1							1
		日本語読解	2前		1							1
	外国語科目	英語文章表現	1前	1								1
		英語読解	2前		1							1
		日常英会話	1後		1							1
		英語プレゼンテーション	1後		1							1
中国語の基礎		1後		1							1	
中国語会話	中国語会話	2前		1							1	
	情報科目	情報機器の活用と発信	1前	1							1	
	情報機器とプレゼンテーション	2前		1							1	
	情報倫理	2後		1							1	
キャリア科目	キャリアデザインⅠ(基礎)	1前	1								1	
	キャリアデザインⅡ(応用)	3前		1							1	
進路の探求	運動と健康	1前	1								1	
	生涯スポーツ実技	1前		1							1	
	小計(38科目)	-	20	34	0	1	0	0	0	0	29	
専門基礎科目	人体の構造と機能	解剖学	1前	2								1
		解剖学実習	1後	1			1	1				1
		生理学	1前	2			1					
		生化学Ⅰ(物質生化学)	1前	2			1					
		生化学Ⅱ(代謝生化学)	1後	1			1					
		生化学実習	1後		1		1			2		
		細胞分子生物学	2後		2		1					
		健康食品総論	3前		2		1					
		小計(8科目)	-	8	5	0	3	2	1	2	0	1
	医学検査の基礎とその疾病との関連	遺伝学	2前		2		1					
		病理学総論	1後	2				1				
		病理学各論	2前		1			1				
		微生物学	1後	2			1					
		血液学	1後	2			1					
免疫学		2前	2			1	1					
薬理学	3前		2			1						
医学英語演習	3前		1							1		
医学英語特論	4前		1		1							
	小計(9科目)	-	8	7		4	3	0	0	0	1	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎分野	科学的思考の基盤	自然科学の探求	化学概論	1前	2							1	
		生物学概論	1前	2			1					1	
		物理学概論	1前	2								1	
		数学概論	1前		2							1	
		統計学	1後		2							1	
	人間と生活・社会の理解	人間と文化の探求	生命倫理学	3前	2								6
			心理学	1前		2							1
			平和と友愛論	1前	1								1
			美術の世界	1前		1							1
			国際文化人間論	1前		1							1
		現代社会の探求	社会学	1前		2							1
			日本国憲法	1前		2							1
	地域と環境の探求	社会福祉論	1後		2							1	
		社会とメディア	1後		2							1	
		経営学基礎	1後		2							1	
		マーケティング論	2前		2							2	
		ヒューマンコミュニケーション	1後		2							1	
	日本語科目	日本語文章表現	1前	1								1	
		日本語口頭表現	1前		1							1	
		日本語読解	2前		1							1	
		外国語科目	英語文章表現	1前	1								1
		英語読解	2前		1							1	
	中国語の基礎	日常英会話	1後		1							1	
		英語プレゼンテーション	1後		1							1	
	中国語会話	中国語の基礎	1後		1							1	
		中国語会話	2前		1							1	
	情報科目	情報機器の活用と発信	1前	1								1	
		情報機器とプレゼンテーション	2前		1							1	
	キャリア科目	情報倫理	2後		1							1	
キャリアデザインⅠ(基礎)		1前	1								1		
進路の探求	キャリアデザインⅡ(応用)	3前		1							1		
	運動と健康	1前	1								1		
	生涯スポーツ実技	1前		1							1		
	小計(38科目)	-	18	36	0	1	0	0	0	0	34		
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学	1前	2								1	
		解剖学実習	1後	1				1		1		1	
		生理学	1前	2			1						
		生化学Ⅰ(物質生化学)	1前	2			1						
		生化学Ⅱ(代謝生化学)	1後	1			1						
		生化学実習	1後		1		1				2		
		細胞分子生物学	2後		2		1						
		健康食品総論	3前		2		1						
		小計(8科目)	-	8	5	0	4	1	1	2	0	1	
	臨床検査の基礎とその疾病との関連	遺伝学	2前		2								
		病理学総論	1後	2				1					
		病理学各論	2前		1			1					
		微生物学	1後	2			1						
		血液学	1後	2			1						
免疫学		2前	2			1	1						
薬理学	3前		2				1						
医学英語演習	3前		1							1			
医学英語特論	4前		1		1								
	小計(9科目)	-	7	7	0	5	2	0	0	0	1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	保健医療福祉と医学検査	医学概論	1前	1							1		
		チーム医療概論	1後	1			2	2			8		
		地域医療概論	4前	1			3	3	1		9		
		公衆衛生学	2前	2				1	1				
		公衆衛生学実習	2後	2	1		1	1	1				
		地域包括ケアシステム論	3前	2							1		
		関係法規	2後	1				1					
		医療統計学	2後	2	1			1					
		健康栄養学概論	4前	1							1		
		小計(9科目)	—	8	3	0	5	3	2	0	0	15	
科学及び情報	医療工学及び情報	医療工学概論	2前	2			1						
		医療工学実習	2前	2	1		1	1		1			
		医療情報学	3前	2							1		
		医療情報学演習	4前	1							1		
		医療検査情報システム論	4前	2							1		
小計(5科目)	—	4	4	0	1	1	0	1	0	1			
臨床病態学	臨床病態学	臨床医学総論	1後	2							1		
		臨床医学各論	2前	2							1		
		臨床検査医学	2後	2							1		
		病態解析学特論	4前	2							1		
		総合臨床検査学	4後	4			10	4	1	2			
		小計(5科目)	—	6	6	0	10	4	1	2	0	1	
		形態検査学	形態検査学	医動物学	2前	1			1				
				病理検査学	3前	2				1			
				病理検査学実習	3前	2				2	1		
				血液検査学Ⅰ(疾患と検査)	2前	2				1			
血液検査学Ⅱ(機器とデータ解析)	3前			1			2						
血液検査学実習	2後			2			2	1					
細胞検査学	3前			1				1					
生殖医療概論	4前			2							4		
小計(8科目)	—	9	4	0	3	2	1	0	0	4			
生物化学分析検査学	生物化学分析検査学	臨床検査学基礎実習	1前	1			2	2		3			
		臨床検査総論	1後	2			2						
		臨床検査総論実習	2前	1			2	1		1			
		臨床化学Ⅰ(基礎)	2前	2			2						
		臨床化学Ⅱ(臨床応用)	2後	1			2						
		臨床化学実習	3前	2			3						
		放射性同位元素検査学	2後	2				1					
小計(7科目)	—	11	0	0	6	4	0	3	0	0			
病因・生体防御検査学	病因・生体防御検査学	微生物検査学	2前	2			1						
		微生物検査学実習	2後	2			3						
		免疫検査学	2後	2			1	1					
		免疫検査学実習	3前	1			1	1	1				
		輸血・移植検査学	2後	2			1						
		輸血・移植検査学実習	3前	1			2	1					
		遺伝子・染色体検査学	2後	2			1						
		遺伝子・染色体検査学実習	3前	1			3			1			
		小計(8科目)	—	10	3	0	6	1	1	1	0	1	
		生理機能検査学	生理機能検査学	救急救命法	1後	1			1	1			
生理機能検査学Ⅰ(基礎)	1後			2			1	1					
生理機能検査学Ⅱ(臨床)	2前			1			1	1					
生理機能検査学実習	2後			2			1	1	1				
画像検査学	2前			2				1	1				
画像検査学実習	2後			2			1	1	1				
画像検査学特論	4前			1			1	1					
小計(7科目)	—	9	2	0	1	2	1	1	0	0			
検査総合管理学	検査総合管理学	検査管理総論	2前	2			1						
		検査管理学演習	3前	1			1						
		検査管理学特論	4前	2			1						
		機器分析学	4前	2					1				
		総合臨床検査セミナー	4後	4			10	4	1	2	1		
小計(5科目)	—	7	4	0	10	4	2	2	0	1			
医療安全管理学	医療安全管理学	医療安全管理学演習	3前	1			2				1		
		小計(1科目)	—	1	0	0	2	0	0	0	0	1	
臨地実習	臨地実習	臨地実習前総合演習	3前	4			10	4	2	2			
		臨地実習	3後	7			8	4	2				
小計(2科目)	—	7	4	0	10	4	3	2	0	0			
卒業研究	卒業研究	卒業研究	4通	4			10	4	2				
		小計(1科目)	—	4	0	0	10	4	2	0	0	0	
合計(113科目)		—	112	76	0	10	4	4	3	0	50		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎分野	保健医療福祉と臨床検査	医学概論	1前	1								1
		チーム医療概論	1後	1			2	2				8
		地域医療概論	4前	1			3	3	1			10
		公衆衛生学	2前	2				1	1			
		公衆衛生学実習	2後	2	1		1	1	1			
		地域包括ケアシステム論	3前	2								1
		医療統計学	2後	2	1			1				
		健康栄養学概論	4前	1								2
		小計(8科目)	—	7	3	0	5	3	2	0	0	17
		医療工学及び医療情報学	医療工学及び医療情報学	医療工学概論	2前	2			1			
医療工学実習	2前			2	1		1	1		1		
医療情報学	3前			2							1	
医療情報学演習	4前			1							1	
医療検査情報システム論	4前			2							1	
小計(5科目)	—	4	4	0	1	1	0	1	0	1		
病態学	病態学	臨床医学総論	1後	2								1
		臨床医学各論	2前	2								1
		臨床検査医学	2後	2								1
		病態解析学演習	4前	2								2
		総合臨床検査学	4後	4			11	3	1	2		
小計(5科目)	—	6	6	0	11	3	1	2	0	2		
血液学的検査	血液学的検査	血液検査学Ⅰ(疾患と検査)	2前	2			1					
		血液検査学Ⅱ(機器とデータ解析)	3前	1			2					
		血液検査学実習	2後	2			2	1				
		小計(3科目)	—	4	1	0	2	1	0	0	0	0
病理学的検査	病理学的検査	病理検査学	3前	2			1					
		病理検査学実習	3前	2			1	1	1			
		細胞検査学	3前	1						1		
		生殖医療概論	4前	2								4
小計(4科目)	—	5	2	0	1	1	1	0	0	4		
尿・糞便等一般検査	尿・糞便等一般検査	一般検査学Ⅰ	1前	2			2					
		一般検査学Ⅱ(医動物学)	2前	1			1					
		一般検査学実習	2前	1			2	1		1		
		小計(3科目)	—	4	0	0	3	1	0	1	0	0
生化学的検査・免疫学的検査	生化学的検査・免疫学的検査	臨床検査学基礎実習	1前	1			3	1		3		
		臨床化学Ⅰ(基礎)	2前	2			2	1				
		臨床化学Ⅱ(臨床応用)	2後	1			2					
		臨床化学実習	3前	2			3					
		免疫検査学	2後	2			1	1				
小計(5科目)	—	7	1	0	6	3	0	3	0	0		
遺伝子関連・染色体検査	遺伝子関連・染色体検査	遺伝子・染色体検査学	2後	1			1					
		遺伝子・染色体検査学実習	3前	1			3			1	1	
		小計(2科目)	—	2	0	0	3	0	0	1	0	1
輸血・移植検査	輸血・移植検査	輸血・移植検査学	2後	2			1					
		免疫・輸血検査学実習	3前	2			2	1				
		小計(2科目)	—	4	0	0	2	1	0	0	0	0
微生物学的検査	微生物学的検査	微生物検査学Ⅰ	2前	2			3					
		微生物検査学Ⅱ	2後	2			3					
		微生物検査学実習	2後	2			3					
小計(3科目)	—	4	0	0	3	0	0	0	0	0		
生理学的検査	生理学的検査	救急救命法	1後	1			1	1				
		生理機能検査学Ⅰ(基礎)	1後	2			1	1				
		生理機能検査学Ⅱ(臨床)	2前	2			1	1				
		生理機能検査学実習	2後	2			1	1	1			
		画像検査学	2前	2				1	1			
		画像検査学実習	2後	2			1	1	1			
		画像検査学特論	4前	1			1	1				
小計(7科目)	—	10	2	0	1	2	1	1	0	0		
臨床検査総合管理	臨床検査総合管理	検査管理総論	2前	2			1					
		検査管理学演習	3前	1			1					
		検査管理学特論	4前	2			1					
		機器分析学	4前	1						1		
		総合臨床検査セミナー	4後	4			10	4	1	2	1	
小計(5科目)	—	6	4	0	11	3	2	2	0	1		
医療安全管理	医療安全管理	医療安全管理学	3前	1			1					
		医療安全管理学実習	3前	1			2	1		1		
		小計(2科目)	—	2	0	0	2	1	0	1	0	1
臨地実習	臨地実習	臨地実習前総合演習	3前	2			11	3	2	2		
		臨地実習	3後	11			9	3	3			
小計(2科目)	—	13	0	0	11	3	3	2	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
卒業研究	卒業研究	4通	4			11	3	2				
	小計(1科目)	—	4	0	0	11	3	2	0	0	0	
合計(112科目)			—	117	71	0	11	3	4	3	0	53

卒業要件及び履修方法	
卒業要件単位	130単位
①教養・基礎科目は、14科目20単位が必修、選択科目より8単位以上、合計28単位以上を修得する。	
②専門基礎科目は、17科目28単位が必修、選択科目より4単位以上、合計32単位以上を修得する。	
③専門科目は、33科目64単位が必修、選択科目より6単位以上、合計70単位以上を修得する。	
④卒業要件単位数は合計130単位以上を修得する。	
(履修科目の登録の上限：48単位(年間))	

卒業要件及び履修方法	
卒業要件単位	136単位
①基礎分野は、13科目18単位が必修、選択科目より8単位以上、合計26単位以上を修得する。	
②専門基礎分野は、16科目26単位が必修、選択科目より4単位以上、合計30単位以上を修得する。	
③専門分野は、37科目74単位が必修、選択科目より6単位以上、合計80単位以上を修得する。	
④卒業要件単位数は合計136単位以上を修得する。	
(履修科目の登録の上限：48単位(年間))	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
科学的思考の基盤	自然科学の探求	1前	2									1			
	生物学概論	1前	2			1									
	物理学概論	1前	2									1			
	数学概論	1前	2									1			
	統計学	1後	2									1			
	人間と文化の探求	生命倫理学	3前	2									1		
		心理学	1前	2									1		
		平和と友愛論	1前	1									1		
		美術の世界	1前	1									1		
		国際文化人間論	1前	1									1		
		現代社会の探求	社会学	1前	2									1	
			日本国憲法	1前	2									1	
			社会福祉論	1後	2									1	
			社会とメディア	1後	2									1	
			経営学基礎	1後	2									1	
	マーケティング論		2前	2									1		
	地域と環境の探求	健康科学	1前	1									1		
		生活と環境	1前	2									1		
		災害と生活	1後	2									1		
		土佐の歴史	1前	1									1		
		土佐の食文化	1前	1									1		
		日本語科目	日本語文章表現	1前	1									1	
			日本語口頭表現	1前	1									1	
			日本語読解	2前	1									1	
			外国語科目	英語文章表現	1前	1									1
				英語読解	2前	1									1
	日常英会話			1後	1									1	
英語プレゼンテーション	1後	1										1			
情報科目	中国語の基礎	1後	1									1			
	中国語会話	2前	1									1			
	情報機器の活用と発信	1前	1									1			
	情報機器とプレゼンテーション	2前	1									1			
	情報倫理	2後	1									1			
	キャリア	キャリアデザインI(基礎)	1前	1									1		
キャリアデザインII(応用)		3前	1									1			
健康スポーツ		運動と健康	1前	1									1		
	生涯スポーツ実技	1前	1									1			
小計(38科目)			—	18	36	0	1	0	0	0	0	27			
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学	1前	2									1		
		解剖学実習	1後	1			1		1				1		
		生理学	1前	2			1								
		生化学I(物質生化学)	1前	2			1								
		生化学II(代謝生化学)	1後	1			1								
		生化学実習	1後	1			1			2					
		細胞分子生物学	2後	2			1								
		健康食品総論	3前	2			1								
		小計(8科目)			—	8	5	0	4	1	1	2	0	1	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
教養・基礎科目	人間と文化の探求	生命倫理学	3前	2									1		
		心理学	1前	2									1		
		平和と友愛論	1前	1									1		
		美術の世界	1前	1									1		
		国際文化人間論	1前	1									1		
		現代社会の探求	社会学	1前	2									1	
			日本国憲法	1前	2									1	
			社会福祉論	1後	2									1	
			社会とメディア	1後	2									1	
			経営学基礎	1後	2									1	
	マーケティング論		2前	2									1		
	ヒューマンコミュニケーション		1後	2									1		
	自然科学の探求	化学概論	1前	2									1		
		生物学概論	1前	2			1								
		物理学概論	1前	2									1		
		数学概論	1前	2									1		
		統計学	1後	2									1		
		地域と環境の探求	健康科学	1前	1									1	
	生活と環境		1前	2									1		
	災害と生活		1後	2									1		
	土佐の歴史		1前	1									1		
	土佐の食文化		1前	1									1		
	日本語科目		日本語文章表現	1前	1									1	
			日本語口頭表現	1前	1									1	
			日本語読解	2前	1									1	
			外国語科目	英語文章表現	1前	1									1
				英語読解	2前	1									1
日常英会話		1後		1									1		
英語プレゼンテーション	1後	1										1			
情報科目	中国語の基礎	1後	1									1			
	中国語会話	2前	1									1			
	情報機器の活用と発信	1前	1									1			
	情報機器とプレゼンテーション	2前	1									1			
	情報倫理	2後	1									1			
	キャリア	キャリアデザインI(基礎)	1前	1									1		
キャリアデザインII(応用)		3前	1									1			
健康スポーツ		運動と健康	1前	1									1		
	生涯スポーツ実技	1前	1									1			
小計(38科目)			—	20	34	0	1	0	0	0	0	28			
専門基礎科目	人体の構造と機能	解剖学	1前	2									1		
		解剖学実習	1後	1					1				1		
		生理学	1前	2			1								
		生化学I(物質生化学)	1前	2			1								
		生化学II(代謝生化学)	1後	1			1								
		生化学実習	1後	1			1			2					
		細胞分子生物学	2後	2			1								
		健康食品総論	3前	2			1								
小計(8科目)			—	8	5	0	3	2	1	2	0	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門分野	臨床検査総合管理	検査管理総論	2前	2			1						
		検査管理学演習	3前	1			1						
		検査管理学特論	4前	2			1						
		機器分析学	4前	1					1				
		総合臨床検査セミナー	4後		4		11	3	1	2		1	
	小計(5科目)	—	6	4	0	11	3	2	2	0	1		
	医療安全管理	医療安全管理学	3前	1			1						
		医療安全管理学実習	3前	1			2	1		1		1	
	小計(2科目)	—	2	0	0	2	1	0	1	0	1		
	臨地実習	臨地実習前総合評価実習	3前	2			11	3	2	2			
		臨地実習	3後	11			9	3	3				
		小計(2科目)	—	13	0	0	11	3	3	2	0	0	
	卒業研究	卒業研究	4通	4			11	3	2				
		小計(1科目)	—	4	0	0	11	3	2	0	0	0	
	合計(112科目)			—	117	71	0	11	3	4	3	0	47
卒業要件及び履修方法													
卒業要件単位 136単位 ①基礎分野は、13科目18単位が必修、選択科目より8単位以上、合計26単位以上を修得する。 ②専門基礎分野は、16科目26単位が必修、選択科目より4単位以上、合計30単位以上を修得する。 ③専門分野は、37科目74単位が必修、選択科目より6単位以上、合計80単位以上を修得する。 ④卒業要件単位数は合計136単位以上を修得する。 (履修科目の登録の上限：48単位(年間))													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	検査総合管理	検査管理総論	2前	2			1						
		検査管理学演習	3前	1			1						
		検査管理学特論	4前	2			1						
		機器分析学	4前	2					1				
		総合臨床検査セミナー	4後		4		10	3	1	2		1	
	小計(5科目)	—	7	4	0	10	3	2	2	0	1		
	医療安全管理学	医療安全管理学演習	3前	1			2					1	
		小計(1科目)	—	1	0	0	2	0	0	0	0	1	
	臨地実習	臨地実習前総合演習	3前		4		10	3	2	2			
		臨地実習	3後		7		8	3	2				
		小計(2科目)	—		7	4	0	10	3	3	2	0	
	卒業研究	卒業研究	4通		4		10	3	2				
		小計(1科目)	—		4	0	0	10	3	2	0	0	
	合計(113科目)			—	112	76	0	10	3	4	3	0	50
	卒業要件及び履修方法												
卒業要件単位 130単位 ①教養・基礎科目は、14科目20単位が必修、選択科目より8単位以上、合計28単位以上を修得する。 ②専門基礎科目は、17科目28単位が必修、選択科目より4単位以上、合計32単位以上を修得する。 ③専門科目は、33科目64単位が必修、選択科目より6単位以上、合計70単位以上を修得する。 ④卒業要件単位数は合計130単位以上を修得する。 (履修科目の登録の上限：48単位(年間))													

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養・基礎科目	人間と文化の探求	生命倫理学	3前	2							1
		心理学	1前		2						1
		平和と友愛論	1前	1							1
		美術の世界	1前		1						1
		国際文化人間論	1前		1						1
	現代社会の探求	社会学	1前		2						1
		日本国憲法	1前		2						1
		社会福祉論	1後		2						1
		社会とメディア	1後		2						1
		経営学基礎	1後		2						1
		マーケティング論	2前		2						1
	自然科学の探求	化学概論	1前		2						1
		生物学概論	1前		2		1				1
		物理学概論	1前		2						1
		数学概論	1前		2						1
		統計学	1後		2						1
	地域と環境の探求	健康科学	1前		1						1
		生活と環境	1前		2						1
		災害と生活	1後		2						1
		土佐の歴史	1前		1						1
		土佐の食文化	1前		1						1
	日本語科目	日本語文章表現	1前		1						1
		日本語口頭表現	1前		1						1
		日本語読解	2前		1						1
	外国語科目	英語文章表現	1前		1						1
		英語読解	2前		1						1
		日常英会話	1後		1						1
		英語プレゼンテーション	1後		1						1
		中国語の基礎	1後		1						1
	情報科目	情報機器の活用と発信	1前		1						1
情報機器とプレゼンテーション		2前		1						1	
情報倫理		2後		1						1	
形成キャリア	キャリアデザインI(基礎)	1前		1						1	
	キャリアデザインII(応用)	3前		1						1	
課外活動	運動と健康	1前		1						1	
	生涯スポーツ実技	1前		1						1	
小計(38科目)			—	20	34	0	1	0	0	0	28

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	人体の構造と機能	解剖学	1前	2								1	
		解剖学実習	1後	1			1	1				1	
		生理学	1前	2			1						
		生化学Ⅰ（物質生化学）	1前	2			1						
		生化学Ⅱ（代謝生化学）	1後	1			1						
		生化学実習	1後	1			1		2				
		細胞分子生物学	2後	2			1						
		健康食品総論	3前	2			1						
	小計（8科目）	—	8	5	0	3	2	1	2	0	1		
専門基礎科目	医学検査の基礎とその疾病との関	遺伝学	2前	2			1						
		病理学総論	1後	2			1						
		病理学各論	2前	1			1						
		微生物学	1後	2			1						
		血液学	1後	2			1						
		免疫学	2前	2			1	1					
		薬理学	3前	2			1						
		医学英語演習	3前	1								1	
	医学英語特論	4前	1			1							
小計（9科目）	—	8	7		4	3	0	0	0	1			
専門基礎科目	保健医療福祉と医学検査	医学概論	1前	1								1	
		チーム医療概論	1後	1			2	2				8	
		地域医療概論	4前	1			3	3	1			9	
		公衆衛生学	2前	2			1	1					
		公衆衛生学実習	2後	1			1	1	1				
		地域包括ケアシステム論	3前	2								1	
		関係法規	2後	1				1					
		医療統計学	2後	1				1					
	健康栄養学概論	4前	1								1		
小計（9科目）	—	8	3	0	5	3	2	0	0	15			
専門基礎科目	医療工学及び情報	医療工学概論	2前	2			1						
		医療工学実習	2前	1			1	1		1			
		医療情報学	3前	2								1	
		医療情報学演習	4前	1								1	
		医療検査情報システム論	4前	2								1	
小計（5科目）	—	4	4	0	1	1	0	1	0	1			
専門科目	臨床病理学	臨床医学総論	1後	2								1	
		臨床医学各論	2前	2								1	
		臨床検査医学	2後	2								1	
		病態解析学特論	4前	2								1	
		総合臨床検査学	4後	4			10	4	1	2			
	小計（5科目）	—	6	6	0	10	4	1	2	0	1		
	専門科目	形態検査学	医動物学	2前	1			1					
			病理検査学	3前	2				1				
			病理検査学実習	3前	2				2	1			
			血液検査Ⅰ（疾患と検査）	2前	2				1				
			血液検査Ⅱ（機器とデータ解析）	3前	1				2				
			血液検査学実習	2後	2				2	1			
			細胞検査学	3前	1				1				
			生殖医療概論	4前	2								4
	小計（8科目）	—	9	4	0	3	2	1	0	0	4		
専門科目	生物化学分析検査学	臨床検査学基礎実習	1前	1			2	2		3			
		臨床検査総論	1後	2			2						
		臨床検査総論実習	2前	1			2	1		1			
		臨床化学Ⅰ（基礎）	2前	2			2						
		臨床化学Ⅱ（臨床応用）	2後	1			2						
		臨床化学実習	3前	2			3						
		放射性同位元素検査学	2後	2				1					
小計（7科目）	—	11	0	0	6	4	0	3	0	0			
専門科目	病因・生体防御検査学	微生物検査学	2前	2			2						
		微生物検査学実習	2後	2			3						
		免疫検査学	2後	2			1	1					
		免疫検査学実習	3前	1			1	1	1				
		輸血・移植検査学	2後	2			1						
		輸血・移植検査学実習	3前	1			2	1					
		遺伝子・染色体検査学	2後	2			1						
		遺伝子・染色体検査学実習	3前	1			3			1		1	
小計（8科目）	—	10	3	0	6	1	1	1	0	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	救急救命法	1後	1				1	1					
	生理機能検査学Ⅰ(基礎)	1後	2			1		1					
	生理機能検査学Ⅱ(臨床)	2前	1			1		1					
	生理機能検査学実習	2後	2			1		1	1				
	画像検査学	2前	2				1	1					
	画像検査学実習	2後	2			1	1	1					
	画像検査学特論	4前	1				1	1					
	小計(7科目)	—	9	2	0	1	2	1	1	0	0		
	検査総合管理学	検査管理総論	2前	2			1						
	検査管理学演習	3前	1			1							
	検査管理学特論	4前	2			1							
	機器分析学	4前	2					1					
	総合臨床検査セミナー	4後	4			10	4	1	2		1		
	小計(5科目)	—	7	4	0	10	4	2	2	0	1		
	医療安全管理学	医療安全管理学演習	3前	1			2					1	
	小計(1科目)	—	1	0	0	2	0	0	0	0	1		
	臨地実習	臨地実習前総合演習	3前		4		10	4	2	2			
	臨地実習	3後	7			8	4	2					
	小計(2科目)	—	7	4	0	10	4	3	2	0	0		
卒業研究	卒業研究	4通	4			10	4	2					
小計(1科目)	—	4	0	0	10	4	2	0	0	0			
合計(113科目)	—	112	76	0	10	4	4	3	0	50			

卒業要件及び履修方法

- 卒業要件単位 130単位
 ①教養・基礎科目は、14科目20単位が必修、選択科目より8単位以上、合計28単位以上を修得する。
 ②専門基礎科目は、17科目28単位が必修、選択科目より4単位以上、合計32単位以上を修得する。
 ③専門科目は、33科目64単位が必修、選択科目より6単位以上、合計70単位以上を修得する。
 ④卒業要件単位数は合計130単位以上を修得する。

(履修科目の登録の上限：48単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

特になし。

【令和3年度】

専任教員の退職により、「解剖学実習」「病理学総論」「病理学各論」「病理検査学」「総合臨床検査学」「病理検査学実習」「細胞検査学」「臨床検査学基礎実習」「総合臨床検査セミナー」「臨地実習目総合演習」「臨地実習」「卒業研究」は各「准教授」1を減じている(令和3年3月AC教員審査により対応する。)

【令和4年度】

- ・「解剖学実習」「病理学総論」「病理学各論」「病理検査学」「総合臨床検査学」「病理検査学実習」「臨床検査学基礎実習」「総合臨床検査セミナー」「臨床実習前総合評価実習」「臨床実習」「卒業研究」に教授1を追加。(令和3年3月AC教員審査結果)
 - ・「細胞診断学」の担当教員を講師1とした。(令和3年3月AC教員審査結果)
 - ・「臨床実習」の担当教員講師1を追加。(令和3年3月AC教員審査結果)
- 臨床検査技師学校養成所指定規則の一部を改正する省令の公布により、教育課程を変更。
- ・教育課程の構成を改め、「教養・基礎科目」は「基礎分野」に、「専門基礎科目」は「専門基礎分野」に、「専門科目」は「専門分野」に改めるとともに、「基礎分野」には中区分を追加して「科学的思考の基盤」と「人間と生活・社会の理解」とした。
 - ・基礎分野では「日本国憲法」を必修から選択とし、必修単位数を18単位、選択単位数を36単位とした。
 - ・「専門基礎分野」について、次のように変更。
 - 「医学検査の基礎とその疾病との関連」を「臨床検査の基礎とその疾病との関連」とし、必修単位数を7単位とした。
 - 「保健医療福祉と医学検査」を「保健医療福祉と臨床検査」とし、必修単位数を7単位とした。
 - 「医療工学及び情報科学」を「医療工学及び医療情報」とし、必修単位数を4単位とした。
 - ・「専門分野」について、次のように変更。
 - 「臨床病態学」を「病態学」とし、必修単位数を7単位とした。
 - 「形態検査学」を「血液学的検査」及び「病理学的検査」とし、必修単位数を「血液学的検査」は4単位、「病理学的検査」は5単位とした。
 - 「生物化学分析検査学」を「尿・糞便等一般検査」、「生化学的検査・免疫学的検査」及び「遺伝子関連・染色体検査」とし、必修単位数を「尿・糞便等一般検査」は4単位、「生化学的検査・免疫学的検査」は7単位、「遺伝子関連・染色体検査」は2単位とした。
 - 「病因・生体防御検査学」を「輸血・移植検査」及び「微生物学的検査」とし、必修単位数を「輸血・移植検査」は4単位、「微生物学的検査」は6単位とした。
 - 「生理機能検査学」を「生理学的検査」とし、必修単位数を10単位とした。
 - 「検査総合管理」を「臨床検査総合管理」とし、必修単位数を6単位とした。
 - 「医療安全管理学」を「医療安全管理」とし、必修単位数を2単位とした。
 - 「臨床実習」の必修単位数を13単位とした。
 - ・「免疫学」の単位数を2から1に変更。
 - ・「病態解析学特論」は「病態解析学演習」とし、単位数を2から1に変更。
 - ・「細胞検査学」は選択から必修に変更した。(令和3年3月AC教員審査結果)
 - ・「関係法規」を廃止し、その内容は「公衆衛生学」に含めることとした。
 - ・「臨床検査総論」を「一般検査学Ⅰ」に変更。
 - ・「医動物学」を「一般検査学Ⅱ(医動物学)」に変更。
 - ・「臨床検査総論実習」を「一般検査学実習」に変更。
 - ・「放射性同位元素検査学」を廃止し、その内容は「臨床化学Ⅰ(基礎)」に含めることとし、「臨床化学Ⅰ(基礎)」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授2・准教授1」に変更。
 - ・「臨床化学Ⅱ(臨床応用)」を必修から選択に変更。
 - ・「遺伝子・染色体検査学」を選択から必修に変更。
 - ・「遺伝子染色体検査学実習」を選択から必修に変更。
 - ・「輸血・移植検査学実習(1単位)」と「免疫検査学実習(1単位)」を「免疫・輸血検査学実習(2単位)」に変更し、専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」「講師1」とした。
 - ・「微生物検査学」を「微生物検査学Ⅰ」とし、専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」のオムニバス方式に変更。
 - ・「微生物検査学Ⅱ」を新設し、専任教員等の配置を「教授3」のオムニバス方式とする。
 - ・「生理機能検査学Ⅱ(臨床)」の単位数を1単位から2単位に変更した。
 - ・「機器分析学」の単位数を2から1に変更した。
 - ・「医療安全管理学」を新設し、専任教員等の配置を「教授1」とする。
 - ・「医療安全管理学演習」を「医療安全管理学実習」に変更し、専任教員等の配置に「准教授1」「助教1」を加える。
 - ・「臨床実習前総合評価」を「臨床実習前総合評価実習」に変更し、単位数を4から2に変更した。
 - ・「臨床実習」の単位数を7から11に変更した。

【令和5年度】

兼任講師が都合により辞退したため、「生命倫理学」の兼任教員の配置を「兼任1」から「兼任6」に変更。
兼任講師の都合により、「マーケティング論」の兼任教員の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。
「地域医療概論」の兼任教員の配置を1増した。
「健康栄養学概論」の兼任教員の配置を1増した。
兼任講師の都合により、「(旧)病態解析学特論」(新は病態解析学演習)の兼任教員の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
64 科目	49 科目	0 科目	113 科目	65 科目 [1]	47 科目 [Δ2]	0 科目 []	112 科目 [Δ1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	関係法規	1	2	専門	必修	臨床検査技師学校養成所指定規則の改正による見直し。内容を「公衆衛生学」に含める。
2	放射性同位元素検査学	2	2	専門	必修	臨床検査技師学校養成所指定規則の改正による見直し。内容を「臨床化学Ⅰ（基礎）」に含める。
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

臨床検査技師学校養成所指定規則の改正に伴う学則の変更であり、その適用は令和4年度入学生からである。したがって在学生の履修への影響はない。ただし、変更については年度初めのオリエンテーションで全学年に伝達した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{113} = \boxed{1.76}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地・その他：高 知学園短期大学（必要 面積4,600㎡）と共有 運動場用地：高知リハ ビリテーション専門職 大学及び高知学園短期 大学と共用	
	校 舎 敷 地	0 ㎡	17,841.48 ㎡	0 ㎡	17,841.48 ㎡		
	運 動 場 用 地	0 ㎡	25,297.30 ㎡	0 ㎡	25,297.30 ㎡		
	小 計	0 ㎡	43,138.78 ㎡	0 ㎡	43,138.78 ㎡		
	そ の 他	0 ㎡	6,169.97 ㎡	0 ㎡	6,169.97 ㎡		
	合 計	0 ㎡	49,308.75 ㎡	0 ㎡	49,308.75 ㎡		
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	高知学園短期大学（必要面積5,500 ㎡）と共用		
	4,406.42 ㎡ (4,406.42 ㎡)	8,734.09 ㎡ (8,734.09 ㎡)	4,207.75 ㎡ (4,207.75 ㎡)	17,348.26 ㎡ (17,348.26 ㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	(講義室、情報処理学習施設は高 知学園短期大学と共用)	
	28 室	13 室	21 室	2 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			助教を1室複数名とし た。	
	健康科学部 臨床検査学科		19 20 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点
		冊	種	〔うち外国書〕			
	健康科学部 臨床検査学科	11,420 [380] (12,375 [355])	1,279 [1,264] (1,719 [9])	1262 [1262] (1,557 [1])	86 (86)	910 (910)	15 (15)
	計	11,420 [380] (12,375 [355])	1,279 [1,264] (1,719 [9])	1262 [1262] (1,557 [1])	86 (86)	910 (910)	15 (15)
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	974.00 ㎡		134		117630 冊		
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	3,543.00 ㎡		テニスコート（3面）		1,815.00 ㎡		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員1人当り研究費等	252 千円	252 千円	図書購入費	4,500 千円	1,150 千円	1,150 千円
	共 同 研 究 費 等	80 千円	80 千円	設備購入費	52,000 千円	30,000 千円	0 千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
	1,520 千円	1,300 千円	1,300 千円	1,300千円	- 千円	- 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、資産運用収入、手数料収入、雑収入 等					

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	高知学園大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	2	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
健康科学部	4	130	-	520	-	0.78	-	0.72	-	-	令和2	高知県高知市旭天神町292-26						
管理栄養学科	4	70	-	280	学士(栄養学)	0.77	-	0.68	-	-	令和2	同上						
臨床検査学科	4	60	-	240	学士(臨床検査学)	0.78	-	0.75	-	-	令和2	同上						
大学全体	-	130	-	520	-	0.78	-	0.72	-	-	令和2	同上						

大学の名称	高知リハビリテーション専門職大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
リハビリテーション学部	4	150	-	600	-	0.74	-	0.75	-	-	平成31	高知県土佐市高岡町乙1139-3						
リハビリテーション学科	4	150	-	600	-	0.74	-	0.75	-	-	平成31	同上						
理学療法学専攻	4	70	-	280	理学療法学士(専門職)	0.94	-	0.97	-	-	平成31	同上						
作業療法学専攻	4	40	-	160	作業療法学士(専門職)	0.57	-	0.58	-	-	平成31	同上						
言語聴覚学専攻	4	40	-	160	言語聴覚学士(専門職)	0.59	-	0.51	-	-	平成31	同上						
大学全体	4	150	-	600	-	0.74	-	0.75	-	-	-	-						

大学の名称	高知学園短期大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
生活科学学科	2	-	-	-	短期大学士(生活科学)	-	-	-	-	-	平成17	令和2年4月募集停止						
幼児保育学科	2	80	-	160	短期大学士(幼児保育学)	0.86	-	0.86	-	-	平成17							
医療衛生学科																		
医療検査専攻	3	-	-	-	短期大学士(医療検査学)	-	-	-	-	-	平成18	令和2年4月 募集停止						
歯科衛生専攻	3	-	-	-	短期大学士(歯科衛生学)	-	-	-	-	-	平成18	令和2年4月 募集停止						
歯科衛生学科	3	40	-	120	短期大学士(歯科衛生学)	0.68	-	0.69	-	-	令和2	令和2年4月 学科名称変更						
看護学科	3	60	-	180	短期大学士(看護学)	1.03	-	1.10	-	-	平成20							
大学全体	-	180	-	460	-	0.95	-	0.91	-	-	-	-						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	田口 尚弘 (67) <令和2年4月> 理学博士	解剖学 解剖学実習 遺伝子・染色体検査実習	兼任	講師	田口 尚弘 (67) <令和2年4月> 理学博士	解剖学 解剖学実習 遺伝子・染色体検査実習	兼任	講師	田口 尚弘 (70) <令和2年4月> 理学博士	解剖学 解剖学実習 遺伝子・染色体検査実習	兼任	講師	田口 尚弘 (70) <令和2年4月> 理学博士	解剖学 解剖学実習 遺伝子・染色体検査実習
兼任	講師	渡邊 慶子 (64) <令和2年10月> 博士(生活科学)	チーム医療概論※ 地域医療概論※	兼任	講師	渡邊 慶子 (64) <令和2年10月> 博士(生活科学)	チーム医療概論※ 地域医療概論※	兼任	講師	渡邊 慶子 (66) <令和2年10月> 博士(生活科学)	チーム医療概論※ 地域医療概論※	兼任	講師	渡邊 慶子 (67) <令和2年10月> 博士(生活科学)	チーム医療概論※ 地域医療概論※ 健康栄養学概論※
兼任	講師	安房田 司郎 (76) <令和5年4月> 博士(医学)	地域医療概論※ 健康栄養学概論	兼任	講師	安房田 司郎 (73) <令和5年4月> 博士(医学)	地域医療概論※ 健康栄養学概論	兼任	講師	安房田 司郎 (74) <令和5年4月> 博士(医学)	地域医療概論※ 健康栄養学概論	兼任	講師	安房田 司郎 (76) <令和5年4月> 博士(医学)	地域医療概論※ 健康栄養学概論
兼任	講師	古屋 美知 (49) <令和5年4月> 修士(生活科学)	地域医療概論※	兼任	講師	古屋 美知 (50) <令和5年4月> 修士(生活科学)	地域医療概論※	兼任	講師	古屋 美知 (51) <令和5年4月> 修士(生活科学)	地域医療概論※	兼任	講師	古屋 美知 (52) <令和5年4月> 修士(生活科学)	地域医療概論※
兼任	講師	沼田 聡 (38) <令和5年4月> 博士(学術)	地域医療概論※	兼任	講師	沼田 聡 (35) <令和5年4月> 博士(学術)	地域医療概論※	兼任	講師	沼田 聡 (36) <令和5年4月> 博士(学術)	地域医療概論※	兼任	講師	沼田 聡 (37) <令和5年4月> 博士(学術)	地域医療概論※
兼任	講師	松浦 喜美夫 (71) <令和2年4月> 医学博士	医学概論 チーム医療概論※ 地域医療概論※ 臨床医学総論 臨床医学各論 臨床検査医学 病態解析学特論 総合臨床検査セミナー※	兼任	講師	松浦 喜美夫 (71) <令和2年4月> 医学博士	医学概論 チーム医療概論※ 地域医療概論※ 臨床医学総論 臨床医学各論 臨床検査医学 病態解析学特論 総合臨床検査セミナー※	兼任	講師	松浦 喜美夫 (72) <令和2年4月> 医学博士	医学概論 チーム医療概論※ 地域医療概論※ 臨床医学総論 臨床医学各論 臨床検査医学 病態解析学特論 総合臨床検査セミナー※	兼任	講師	松浦 喜美夫 (74) <令和2年4月> 医学博士	医学概論 チーム医療概論※ 地域医療概論※ 臨床医学総論 臨床医学各論 臨床検査医学 病態解析学特論 総合臨床検査セミナー※
兼任	講師	奥宮 敏可 (60) <令和2年10月> 博士(医学)	臨床検査総論※	兼任	講師	奥宮 敏可 (60) <令和2年10月> 博士(医学)	臨床検査総論※								
兼任	講師	来栖 正博 (34) <令和2年4月> 修士(理学)	情報機器の活用と発信 情報機器とプレゼンテーション 情報倫理	兼任	講師	来栖 正博 (34) <令和2年4月> 修士(理学)	情報機器の活用と発信 情報機器とプレゼンテーション 情報倫理	兼任	講師	来栖 正博 (35) <令和2年4月> 修士(理学)	情報機器の活用と発信 情報機器とプレゼンテーション 情報倫理	兼任	講師	来栖 正博 (37) <令和2年4月> 修士(理学)	情報機器の活用と発信 情報機器とプレゼンテーション 情報倫理
兼任	講師	高橋 功 (78) <令和4年4月> 医学博士	生命倫理学	兼任	講師	高橋 功 (78) <令和4年4月> 医学博士	生命倫理学	兼任	講師	高橋 功 (77) <令和4年4月> 医学博士	生命倫理学	兼任	講師	高橋 功 (78) <令和4年4月> 医学博士	生命倫理学
兼任	講師	浜田 幸作 (71) <令和2年4月> 修士(教育学)	平和と友愛論	兼任	講師	浜田 幸作 (71) <令和2年4月> 修士(教育学)	平和と友愛論								
兼任	講師	遠山 茂樹 (51) <令和2年4月> 修士(社会学)	社会学	兼任	講師	遠山 茂樹 (51) <令和2年4月> 修士(社会学)	社会学	兼任	講師	遠山 茂樹 (52) <令和2年4月> 修士(社会学)	社会学	兼任	講師	遠山 茂樹 (53) <令和2年4月> 修士(社会学)	社会学
兼任	講師	渡邊 富一 (64) <令和2年4月> 法学修士	日本国憲法	兼任	講師	渡邊 富一 (64) <令和2年4月> 法学修士	日本国憲法	兼任	講師	渡邊 富一 (65) <令和2年4月> 法学修士	日本国憲法	兼任	講師	渡邊 富一 (66) <令和2年4月> 法学修士	日本国憲法
兼任	講師	岡村 奈緒美 (31) <令和2年10月> 修士(福祉社会学)	社会福祉論	兼任	講師	岡村 奈緒美 (32) <令和2年10月> 修士(福祉社会学)	社会福祉論	兼任	講師	岡村 奈緒美 (33) <令和2年10月> 修士(福祉社会学)	社会福祉論	兼任	講師	岡村 奈緒美 (34) <令和2年10月> 修士(福祉社会学)	社会福祉論
兼任	講師	岩崎 正春 (73) <令和2年4月> 理学博士	物理学概論	兼任	講師	岩崎 正春 (73) <令和2年4月> 理学博士	物理学概論	兼任	講師	岩崎 正春 (74) <令和2年4月> 理学博士	物理学概論	兼任	講師	岩崎 正春 (75) <令和2年4月> 理学博士	物理学概論
兼任	講師	PAULA DIAN FABIAN (62) <令和2年10月> B.L.A(英国)	日常英会話 医学英語演習	兼任	講師	PAULA DIAN FABIAN (62) <令和2年10月> B.L.A(英国)	日常英会話 医学英語演習	兼任	講師	PAULA DIAN FABIAN (63) <令和2年10月> B.L.A(英国)	日常英会話 医学英語演習	兼任	講師	PAULA DIAN FABIAN (64) <令和2年10月> B.L.A(英国)	日常英会話 医学英語演習
兼任	講師	前田 正也 (62) <令和2年10月> 法学士	中国語の基礎 中国語会話	兼任	講師	前田 正也 (62) <令和2年10月> 法学士	中国語の基礎 中国語会話	兼任	講師	前田 正也 (63) <令和2年10月> 法学士	中国語の基礎 中国語会話	兼任	講師	前田 正也 (64) <令和2年10月> 法学士	中国語の基礎 中国語会話
兼任	講師	二宮 久美 (64) <令和2年4月> 修士(学術)	ヒューマンコミュニケーション キャリアデザインI(基礎)	兼任	講師	二宮 久美 (64) <令和2年4月> 修士(学術)	ヒューマンコミュニケーション キャリアデザインI(基礎)	兼任	講師	二宮 久美 (65) <令和2年4月> 修士(学術)	ヒューマンコミュニケーション キャリアデザインI(基礎)	兼任	講師	二宮 久美 (66) <令和2年4月> 修士(学術)	ヒューマンコミュニケーション キャリアデザインI(基礎)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	小島 貴子 (62) <令和3年10月> 修士(国際7ドミナレーション)	キャリアデザインⅡ(応用)	兼任	講師	小島 貴子 (63) <令和3年10月> 修士(国際7ドミナレーション)	キャリアデザインⅡ(応用)	兼任	講師	小島 貴子 (64) <令和3年10月> 修士(国際7ドミナレーション)	キャリアデザインⅡ(応用)	兼任	講師	小島 貴子 (65) <令和3年10月> 修士(国際7ドミナレーション)	キャリアデザインⅡ(応用)
兼任	講師	山本 英作 (53) <令和2年4月> 修士(地域研究)	運動と健康 生涯スポーツ実技	兼任	講師	山本 英作 (54) <令和2年4月> 修士(地域研究)	運動と健康 生涯スポーツ実技	兼任	講師	山本 英作 (55) <令和2年4月> 修士(地域研究)	運動と健康 生涯スポーツ実技	兼任	講師	山本 英作 (56) <令和2年4月> 修士(地域研究)	運動と健康 生涯スポーツ実技
兼任	講師	坂本 まゆみ (53) <令和2年10月> 博士(口腔保健福祉学)	チーム医療概論※	兼任	講師	坂本 まゆみ (53) <令和2年10月> 博士(口腔保健福祉学)	チーム医療概論※	兼任	講師	坂本 まゆみ (54) <令和2年10月> 博士(口腔保健福祉学)	チーム医療概論※	兼任	講師	坂本 まゆみ (55) <令和2年10月> 博士(口腔保健福祉学)	チーム医療概論※
兼任	講師	矢野 智恵 (50) <令和2年10月> 修士(看護学)	チーム医療概論※	兼任	講師	矢野 智恵 (51) <令和2年10月> 修士(看護学)	チーム医療概論※	兼任	講師	矢野 智恵 (52) <令和2年10月> 修士(看護学)	チーム医療概論※	兼任	講師	矢野 智恵 (53) <令和2年10月> 修士(看護学)	チーム医療概論※
兼任	講師	宮崎 登美子 (47) <令和2年10月> 学士(社会学)	チーム医療概論※	兼任	講師	宮崎 登美子 (47) <令和2年10月> 学士(社会学)	チーム医療概論※	兼任	講師	宮崎 登美子 (48) <令和2年10月> 学士(社会学)	チーム医療概論※	兼任	講師	宮崎 登美子 (49) <令和2年10月> 学士(社会学)	チーム医療概論※
兼任	講師	森下 安子 (62) <令和4年4月> 看護学博士	地域医療概論※ 地域包括ケアシステム論	兼任	講師	森下 安子 (61) <令和4年4月> 看護学博士	地域医療概論※ 地域包括ケアシステム論	兼任	講師	森下 安子 (62) <令和4年4月> 看護学博士	地域医療概論※ 地域包括ケアシステム論	兼任	講師	森下 安子 (63) <令和4年4月> 看護学博士	地域医療概論※ 地域包括ケアシステム論
兼任	講師	浅羽 宏一 (54) <令和5年4月> 博士(医学)	地域医療概論※	兼任	講師	浅羽 宏一 (52) <令和5年4月> 博士(医学)	地域医療概論※	兼任	講師	浅羽 宏一 (53) <令和5年4月> 博士(医学)	地域医療概論※	兼任	講師	浅羽 宏一 (54) <令和5年4月> 博士(医学)	地域医療概論※
兼任	講師	久原 太助 (49) <令和4年4月> 修士(医科学)	医療情報学 医療情報学演習 医療検査情報システム論	兼任	講師	久原 太助 (47) <令和4年4月> 修士(医科学)	医療情報学 医療情報学演習 医療検査情報システム論	兼任	講師	久原 太助 (48) <令和4年4月> 修士(医科学)	医療情報学 医療情報学演習 医療検査情報システム論	兼任	講師	久原 太助 (49) <令和4年4月> 修士(医科学)	医療情報学 医療情報学演習 医療検査情報システム論
兼任	講師	泉谷 知明 (52) <令和5年4月> 博士(医学)	生殖医療概論※	兼任	講師	泉谷 知明 (49) <令和5年4月> 博士(医学)	生殖医療概論※	兼任	講師	泉谷 知明 (50) <令和5年4月> 博士(医学)	生殖医療概論※	兼任	講師	泉谷 知明 (51) <令和5年4月> 博士(医学)	生殖医療概論※
兼任	講師	津田 雅之 (49) <令和5年4月> 博士(医学)	生殖医療概論※	兼任	講師	津田 雅之 (46) <令和5年4月> 博士(医学)	生殖医療概論※	兼任	講師	津田 雅之 (47) <令和5年4月> 博士(医学)	生殖医療概論※	兼任	講師	津田 雅之 (48) <令和5年4月> 博士(医学)	生殖医療概論※
兼任	講師	谷口 佳代 (42) <令和5年4月> 学士(医学)	生殖医療概論※	兼任	講師	谷口 佳代 (39) <令和5年4月> 学士(医学)	生殖医療概論※	兼任	講師	谷口 佳代 (40) <令和5年4月> 学士(医学)	生殖医療概論※	兼任	講師	谷口 佳代 (41) <令和5年4月> 学士(医学)	生殖医療概論※
兼任	講師	都築 たまみ (37) <令和5年4月> 学士(医学)	生殖医療概論※	兼任	講師	都築 たまみ (34) <令和5年4月> 学士(医学)	生殖医療概論※	兼任	講師	都築 たまみ (35) <令和5年4月> 学士(医学)	生殖医療概論※	兼任	講師	都築 たまみ (36) <令和5年4月> 学士(医学)	生殖医療概論※
兼任	講師	奥谷 文乃 (60) <令和4年4月> 博士(医学)	医療安全管理学演習※	兼任	講師	奥谷 文乃 (58) <令和4年4月> 博士(医学)	医療安全管理学演習※	兼任	講師	奥谷 文乃 (59) <令和4年4月> 博士(医学)	医療安全管理学演習※	兼任	講師	奥谷 文乃 (60) <令和4年4月> 博士(医学)	医療安全管理学演習※
兼任	講師	都築 房子 (71) <令和2年4月> 教育学士	美術の世界	兼任	講師	都築 房子 (71) <令和2年4月> 教育学士	美術の世界	兼任	講師	都築 房子 (72) <令和2年4月> 教育学士	美術の世界	兼任	講師	都築 房子 (73) <令和2年4月> 教育学士	美術の世界
兼任	講師	福井 康雄 (60) <令和2年10月> 医学博士	チーム医療概論※	兼任	講師	福井 康雄 (60) <令和2年10月> 医学博士	チーム医療概論※	兼任	講師	福井 康雄 (60) <令和2年10月> 医学博士	チーム医療概論※	兼任	講師	福井 康雄 (60) <令和2年10月> 医学博士	チーム医療概論※
兼任	講師	竹崎 陽子 (40) <令和2年10月> 専門学校	チーム医療概論※	兼任	講師	竹崎 陽子 (40) <令和2年10月> 専門学校	チーム医療概論※	兼任	講師	竹崎 陽子 (41) <令和2年10月> 専門学校	チーム医療概論※	兼任	講師	竹崎 陽子 (42) <令和2年10月> 専門学校	チーム医療概論※
兼任	講師	光岡 妙子 (49) <令和2年10月> 医学士	チーム医療概論※	兼任	講師	光岡 妙子 (49) <令和2年10月> 医学士	チーム医療概論※	兼任	講師	光岡 妙子 (50) <令和2年10月> 医学士	チーム医療概論※	兼任	講師	光岡 妙子 (51) <令和2年10月> 医学士	チーム医療概論※
兼任	講師	生島 淳 (49) <令和2年10月> 修士(経営学)	経営学基礎	兼任	講師	生島 淳 (49) <令和2年10月> 修士(経営学)	経営学基礎	兼任	講師	生島 淳 (50) <令和2年10月> 修士(経営学)	経営学基礎	兼任	講師	生島 淳 (51) <令和2年10月> 修士(経営学)	経営学基礎
				兼任	講師	平和と友愛論 経営学基礎		兼任	講師	平和と友愛論 経営学基礎		兼任	講師	平和と友愛論 経営学基礎	
				兼任	講師	マーケティング論※		兼任	講師	マーケティング論※		兼任	講師	マーケティング論※	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
									兼任	講師	大道 洋治 (50) <令5年4月> 博士(獣医学)
											生命倫理学※
									兼任	講師	西山 龍吾 (65) <令5年4月> 医学博士
											生命倫理学※
									兼任	講師	吉川 清志 (71) <令5年4月> 医学博士
											生命倫理学※
									兼任	講師	山本 慎平 (36) <令5年4月> 学士(医学)
											生殖医療学※
									兼任	講師	松尾 聡二 (69) <令5年4月> 博士(医学)
											病態解析学演習※ 病態解析学特論※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 各種の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を異字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください)。
・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ①-②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

・兼任講師が都合により辞退したため、「数学概論」は兼任講師を新たに配置し、「日本語口頭表現」は他の兼任講師の担当とした。

【令和3年度】

・兼任講師が都合により辞退したため、「チーム医療概論」は兼任講師を新たに配置し、「平和と友愛論」は他の兼任講師の担当とした。
・令和3年3月三木友香理准教授退職に伴う人事等については、令和3年3月AC教員審査へ提出。

【令和4年度】

・令和3年7月長沼教授就任。令和3年6月教員審査済み。
・臨床検査技師学校養成所指定規則の一部を改正する省令の交付に係る専任教員の担当科目については、令和3年12月AC教員審査へ提出。
・兼任講師が都合により辞退したため、「数学概論」は他の兼任講師の担当とした。

【令和5年度】

・兼任講師が都合により辞退したため、「生命倫理学」は兼任講師1から他の兼任講師6の担当（オムニバス）とした。
・兼任講師が都合により辞退したため、「社会福祉論」は他の兼任講師の担当とした。
・「マーケティング論」は担当兼任講師の都合により兼任講師1から兼任講師2の担当とした。
・兼任講師の都合により、「健康栄養学概論」は他の兼任講師との2名での担当とした。
・兼任講師の都合により、「病態解析学特論」に他の兼任講師との2名での担当とした。
・兼任講師が都合により辞退したため、「キャリアデザインⅡ（応用）」は他の兼任講師の担当とした。
・兼任講師の専門性などを考慮し、「生殖医療概論」担当者の内1名を「生命倫理学」担当とした。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
10	4	4	3	21	0	11	3	4	3	21	0
(8)	(4)	(3)	(3)	(18)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
11	3	4	3	21	0	11	3	4	3	21	0
[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、既に設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	8 名	8 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{21}{21} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{8}{21} = \boxed{38.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	三木 友香理	R3.3	必修	解剖学実習	①	R3.3.31付け自己都合のため辞任（3）
				必修	病理学総論	①	
				選択	病理学各論	①	
				選択	総合臨床検査学	①	
				必修	病理検査学	①	
				必修	病理検査学実習	①	
				必修	細胞検査学	①	
				必修	臨床検査学基礎実習	①	
				選択	総合臨床検査セミナー	①	
				必修	臨地実習前総合演習	①	
				必修	臨地実習	①	
				必修	卒業研究	①	
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)	
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	9	科目	必修	9	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	9	科目	必修	9	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{21} = 4.76\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専任教員の辞任は年度末であり、教員の補充は次年度のAC教員審査結果をまわって行った。そのため、授業開始が就任後(令和3年7月以降)となったため、時間割の調整や夏期休業を利用して授業を行った。上記の事項について、学生へは年度初めのオリエンテーションで周知した。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
<p>認可時 (令和元年)</p>	<p>・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>高知学園大学は、高等教育・研究機関として「世界の平和と友愛」という建学の精神の下、教育・研究活動を通して、人々の健康と幸福に寄与するという使命を帯びている。従って、本学の設置の趣旨に示すように「県民の健康を支える人材づくりに貢献すると共に、進展する医療システムに対応できる人間性や専門的知識を身に付けた専門的職業人の養成」にある。このため、設置計画を着実に履行することに特に留意する。</p> <p>また、教育の充実と共にそれを支える研究活動にさらなる活性化を図る必要がある。そのため、開学年度より、毎年教員には年度当初に研究活動計画書を提出し、年度末には研究活動の成果を示す報告書を提出することを義務付けている。</p> <p>さらに、FD活動、SD活動及び自己点検評価活動を有機的に機能させることにより、教育・研究活動の向上を図る。また、これらのPDCAサイクルを継続的に回すことにより、本学の教育・研究活動を着実に向上させる。(4) (5)</p>	<p>研究については、全教員から提出された研究活動計画書を基に、本学の研究について支援の在り方（特に資金面、人的支援面）について検討をさらに進めていく。また、本学の特質である分野の多様性を生かした学際的研究の実施を検討し、学科横断的なテーマによる教育活動に基づく研究の企画・立案を推進し、県民の健康を支える人材づくりに貢献していく。</p> <p>教育については、完成年度を見越して学科ごとに定めているアセスメント・ポリシーに基づいた授業レベル、教育課程レベル及び大学レベルの三つのレベルで教育効果を評価するアセスメントプランを作成し、教育の効果をモニターする。さらに、その成果をFD活動及びSD活動にフィードバックすることにより、FD及びSD委員会が中心となって大学全体として、教育の質を向上させるための活動に取り組むとともに、昨年度から作成している自己点検評価報告書を活用してPDCAサイクルをまわしていく。(4)</p> <p>研究については、令和5年度から「研究推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、研究について具体的に支援を進めていくこととしている。また、本学の特質である分野の多様性を生かした学際的研究の実施を検討し、学科横断的なテーマによる教育活動に基づく研究の企画・立案を推進し、県民の健康を支える人材づくりに貢献していく。</p> <p>教育については、学科ごとに定めているアセスメント・ポリシーに基づいた授業レベル、教育課程レベル及び大学レベルの三つのレベルで教育効果を評価するアセスメントプランに基づき、四年間の教育の成果を検証して、次年度以降、さらに教育の質を向上させるための活動に取り組むとともに、自己点検評価報告書を活用してPDCAサイクルをまわしていく。(5)</p>
<p>認可時 (令和元年)</p>	<p>・校舎の整備計画について、遅滞なく着実に実施するとともに、既設の短期大学の教育研究に支障がないよう適切に対応すること。</p>	<p>校舎の整備計画に沿って、本学の校舎については、新たに8号館を建設し、また、既設の建物も改修工事を行い令和2年2月末までに全ての工事を完了し引き渡しを終えている。</p> <p>これらの工事により、研究室については、新設の大学及び既設の短期大学ともに講師以上の教員に研究室が個室として確保され、また、ゼミ室の大幅な増設、実験・実習室の新設及び改修により、大学にふさわしい教育とともに、十分な研究活動が可能な環境を整備することができた。(4) (5)</p>	<p>履行済</p>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
<p>認 可 時 (令和元年)</p>	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>遵守事項</p> <p>本校校法人の教員の定年規定は、職位によらず一律65歳である。臨床検査学科においては、完成年度にその定年を超えている教員数は21名中8名である。定年を超える教員については、再雇用制度を適用して完成年度まで専任教員として雇用できることとしている。後任の補充については、公募や他大学の推薦等のあらゆる手段を講じて若返りを図りたい。(4)</p> <p>本校校法人の教員の定年規定は、職位によらず一律65歳である。臨床検査学科においては、完成年度にその定年を超えている教員数は21名中8名である。定年を超える教員については、再雇用制度を適用して完成年度まで専任教員として雇用できることとしているが、今年度は完成年度であるので、教員の組織編制についての将来計画を立て、実行していかなければならない。(5)</p>	<p>履行中</p> <p>本学は、予定した全教員がそろっている。その中で完成年度に定年あるいは再雇用の期限を迎える教員について、今年度は後任の新規採用の計画的実施に具体的に着手していかなければならない。その際、設置基準を踏まえつつ、学科における分野毎の年齢及び職位の構成を考慮していくこととする。(4)</p> <p>本学は、予定した全教員がそろっている。今年度は完成年度であるので、教員の組織編制の将来計画を立て、後任の新規採用の計画的実施に具体的に着手する。その際、設置基準を踏まえつつ、学科における分野毎の年齢及び職位の構成を考慮していくこととする。(5)</p>
<p>認 可 時 (令和元年)</p>	<p>助言事</p> <p>・学生確保の分析データを踏まえると、県内の志願者が必ずしも十分とは言えないため、学生確保を充実させる観点から、県内に留まらず広報活動の充実にも努めることが望ましい。</p>	<p>今年度の志願者数は臨床検査学科では59名と昨年度の54名より若干上回った。入学者数は43名で定員60名を連続して下回る結果となった。今年度の県外からの志願者は1名(約1.7%)であり、コロナ禍にあつての県外の高校生への地元志向が一層強くなったことが伺われる。</p> <p>令和3年度の新型コロナウイルス感染症の影響として顕著な事項としては、予定していたオープンキャンパスなどが計画通りできなかったことに加え、本学と比べて学費負担の少ない国公立大学に流れてしまったことがあげられる。全国的な蔓延の影響で、県内外を問わず高校訪問は十分にはできず、募集活動には苦戦をした。</p> <p>その中で、学科独自企画である「臨床検査をのぞいてみよう」は高校生(1年から3年まで)に臨床検査技師の仕事について伝える機会となり、受験にも結び付いている。また、本学を個別に訪問する企画において、感染対策を行いながら、学科及び特徴を詳しく説明することで受験及び入学に結び付いている。令和4年度も予想される新型コロナウイルス感染症下にあつて可能な募集戦略を実施していかなければならない。(4)</p> <p>今年度の志願者数は臨床検査学科では53名であり、志願者数としては過去最少であった。入学者数は44名で定員60名を連続して下回る結果となった。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響からの脱却を図り、オープンキャンパスなども感染対策を十分に実行し、高校訪問の機会も増加させてきたが、志願者数が伸びないのは、本学と比べて学費負担の少ない国公立大学志向とともに、まだまだ本学・本学科の特徴・魅力が十分に伝わっていない点を反省事項としてあげなければならない。それらを踏まえた広報活動の充実が必要である。</p> <p>その中で、学科独自企画である「臨床検査をのぞいてみよう」は高校生(1年から3年まで)に臨床検査技師の仕事について伝える機会となり、受験にも結び付いている。また、本学を個別に訪問する企画において、学科及び特徴を詳しく説明することで受験及び入学に結び付いている。(5)</p>	<p>履行中</p> <p>今年度においては、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、以下のような取り組みを展開することとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来行っている高知県内の高等学校進路担当者向け説明会(会場は県内3カ所)やオープンキャンパスを実施する。また、臨床検査学科の教育研究内容に沿った地域活動を通して大学の認知度を高め、ブランディング化を図っていくなど、県内の募集活動をより充実したものとする。 ・四国内の高知県以外の3県の高等学校については、各県で開催される進路相談会等に積極的に参加するとともに、受験実績のある高校を中心に募集活動を行う。 ・本学科の魅力伝える手段としての個別訪問形式のオープンキャンパスを積極的に実施するとともに、「臨床検査をのぞいてみよう」を継続実施し、かつ高知市内の会場で本学独自の説明会を実施していく。(4) <p>今年度は、コロナ禍により制限付きの活動となったこと等の反省を踏まえて以下のような取り組みを展開することとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来行っている高知県内の高等学校進路担当者向け説明会(会場は県内3カ所)やオープンキャンパスは、内容等を十分に検討した上でこれを実施する。また、臨床検査学科の教育研究内容に沿った地域活動を通して大学の認知度を高め、ブランディング化を図っていくなど、県内の募集活動をより充実したものとする。 ・四国内の高知県以外の3県や、中国地方(特に岡山県)の高等学校については、各県で開催される進路相談会等に積極的に参加するとともに、受験実績のある高校を中心に募集活動を行う。 ・本学科の魅力伝える手段としての個別訪問形式のオープンキャンパスを積極的に実施するとともに、「臨床検査をのぞいてみよう」を継続実施し、高知市内のみならず、県内の他の地域での本学独自の説明会(「まるごと!学大・学短フェア」)を実施していく。(5)

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<健康科学部 臨床検査学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 修了要件単位数 130単位 必修科目112単位、選択科目76単位</p>	<p>① 臨床検査技師学校養成所指定規則の一部を改正する省令の公布により、教育課程を変更。 修了要件単位数136単位 必修科目117単位 選択科目71単位</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 高知学園大学では、ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会とスタッフ・ディベロップメント（SD）委員会を設置している。なお、重要議題を総合的に検討する場合は、合同会議を開催することとしている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会は各学科を代表する教員、スタッフ・ディベロップメント（SD）委員会は、事務職員の代表として各課長・係長、そして教員との協働体制を確立するため、学生部長、教務部長も委員として出席する。FD、SD委員会とも年間1～2回程度開催し、委員はほぼ全員が出席している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD活動の企画、実施計画の立案に関すること。 ・ FD活動の評価に関すること。 ・ FD活動に関する情報の収集と提供に関すること。 ・ その他FD活動に関すること。 <p>SD委員会規程第2条より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SD活動の企画、実施計画の立案に関すること。 ・ SD活動の評価に関すること。 ・ SD活動に関する情報の収集と提供に関すること。 ・ その他SD活動に関すること。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員を対象にしたFD・SDに関する学内研修会 ・ 教員相互の授業参観と事後検討会 ・ 授業参観から発見した改善点を実施する公開授業と事後検討会 ・ 学生による授業アンケート実施と教員による自己分析の報告 ・ FD・SD活動研究発表会の開催 ・ 学外研修会参加に関する報告会 ・ FD・SD活動報告書の刊行 等 <p>b 実施方法</p>
--

「教職員を対象にしたFD・SDに関する学内研修会」については、学外講師を招いた研修会を開催する。新任教員に対しては、新採者オリエンテーションの中でFD活動の方針を説明し、意義の理解を深める。

また、「教員相互の授業参観と事後検討会」では、前期と後期で授業参観として公開する授業を指定し、学科を超えて教職員が当該授業を参観する機会を設ける。授業終了後は事後検討会を開催し、相互の教育実践力向上に努める。

「授業参観から発見した改善点を実施する公開授業と事後検討会」では、授業参観として公開した各教員が1年後に改善点を工夫した授業を公開する。

「学生による授業アンケート」では、各期の授業終了後に教員が退室して事務職員が受講学生へ授業アンケートへの回答を求めるようにしている。アンケートは、ポータルサイトを活用し、回答結果の集計は教務課で取りまとめる。

「FD・SD活動研究発表会の開催」については、本学教職員（非常勤講師含む）がFD活動やSD活動に関する研究発表を行うものである。

「学外研修会参加に関する報告会」は、学外で開催される研修会に出席した教職員が、その内容を報告するとともに、課題の確認と目標の共有を行う。

「FD・SD活動報告書の刊行」については、毎年度実施したFD・SD活動の記録や報告、総合的な考察をまとめ、学内外へ情報を発信する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和5年度新採者オリエンテーションは該当教員を対象に6月に実施する。

授業参観については、感染状況にもよるが今年度は実施予定である。同様に「教員相互の授業参観と事後検討会」「授業参観から発見した改善点を実施する公開授業と事後検討会」も実施に向けて検討していく。

研修会については、8月から9月の夏期休業期間にFD・SD研修会を開催する予定である。また、FD・SD関連フォーラムにも積極的な参加を促す。FD・SD活動研究発表会については、例年8月から9月に開催したが、同時期での開催を計画している。FD・SD活動報告書を令和5年度末に刊行する予定である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

新型コロナウイルス感染予防対策に伴う授業参観及びその後の懇談会が開けなかったため、現在は授業アンケートを基とした授業改善に各教員が取り組んでいる。なお、感染予防に伴って工夫を図った授業の取り組みを報告しあいながら共有することで、コロナ禍における授業改善を推進するよう取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各科目の授業終了後にwebにより実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの集計結果（自由記述含む）は、各担当教員へフィードバックを行う。集計結果は事務局教務課で公開し、教員も学生も閲覧することを可能とする。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制 該当なし

a 委員会の設置状況

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況 該当なし

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和2年4月、高知学園大学は、食と医療の分野から地域の健康を支援する人材を育成するために開学し、今年度は完成年度を迎える。新型コロナウイルス感染予防対策のため、入学直後よりその対応が続いているが、その間も対面授業を基本として授業を実施してきた。本学は新型コロナウイルス対策を徹底的に実行しているが、学生は管理栄養学科、臨床検査学科それぞれの専門分野が果たす責任感をそのことによって学び、学習意欲を高め、専門職に就くことの心構えを醸成できている。今後は、「日本一の健康長寿県構想」を掲げる高知県で学習する経験を通して、健康増進と病気の予防に対応できる専門知識・技術、科学的根拠に基づく判断による実践力、健康的な生活を支援するための責任感と倫理観等を備え、多職種の専門性とその価値を尊重し、協働することのできる人材を社会へ輩出する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

毎年度、自己点検・評価報告書を作成して公表する予定である。令和4年度の自己点検・評価については、令和5年10月1日頃に公表する計画である。

b 公表方法

認証評価機関の評価基準に基づいて自己点検・評価報告書を作成し、冊子および本学ウェブサイトにて公表する。

③ 認証評価を受ける計画

完成年度以降に認証評価機関の評価を受けるべく検討する。現在、加盟する認証評価機関を検討中である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。